

こどもの育ちを支えるジェンダー理解研修

開催要綱

趣旨 性の多様性が様々な場面で聞かれるようになり、児童福祉の現場でも性の多様性に向き合う機会が増えてきています。また、令和5年に閣議決定された『こども大綱』では、「性別にかかわらずそれぞれのこども・若者の可能性を広げていくこと」が重要であり、「乳幼児期から心身の発達の過程においてジェンダーの視点を取り入れる」ことが明記されています。

本研修では、こどもの支援についてジェンダーの観点から学びます。

<この研修のポイント>

- 性の多様性について、基礎的な知識を学べます
- ジェンダーの悩みを抱えたこどもを支える対応を考えます

<こんな方におすすめ>

- こどもの支援に関心のある方
- こどもと関わるうえでの性の多様性について学びたい方
- ジェンダーの観点からこどもの育ちについて学びたい方

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

保育所・認定こども園・児童養護施設・障がい児施設・児童家庭支援センター等、児童福祉施設の職員等

配信期間

令和8年12月10日（木）～令和9年1月29日（金）

申込期間

令和8年10月9日（金）～11月9日（月）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和8年11月13日（金）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	講義 1 「性の多様性に関する基礎知識」	<p>こどもが主体性を持って幸せに育つためには、それぞれのこどもが性別に捉われることなく、将来に向けて可能性を広げていくための支援が必要です。</p> <p>こどもの育ちを支えるジェンダーを理解するために、まずは性の多様性について基礎的な知識を学びます。</p>
約 90 分	講義 2 「ジェンダーの悩みを抱えたこどもの支援」	<p>成長過程において、ジェンダーの悩みを抱えるこどもは少なくありません。</p> <p>未就学期から思春期までのこどもが具体的にどのようなことに悩みを抱えているのか、そして悩みを抱えるこどもにどのように支援していけばよいかについて学びます。</p>
約 90 分	講義 3 「現場におけるジェンダーバイアスへの取り組み」	<p>こどもが自身の性別に捉われず、様々な可能性を広げていくために必要な取り組みについて、具体的に学びます。</p> <p>こどもにとって身近な存在である職員が注意しなければならない偏見（バイアス）について再確認し、一人ひとりのこどもとどう関わって行けばよいかについて、ジェンダーの観点から考えます。</p>